玖波中だより No.4

大竹市立玖波中学校　令和５年６月３０日

学校教育目標「自他を大切にし，主体的に考え行動できる生徒の育成」

発行責任者　小田　大介　　文責　藤川　健二

体育祭終わる　～感動をありがとう～

紅組「魂をもやせ　天下無双の我ら紅組」，白組「完全燃焼　～輝け白組　つかみとれW優勝～」のスローガンのもと，快晴の中，６月 10 日（土）に体育祭が開催されました。それぞれのスローガンにふさわしい，競技や応援合戦など，一生懸命な姿に心を打たれました。また３年生のリーダーシップが遺憾なく発揮され，本年度生徒会スローガン「全力共創　～からをやぶって挑戦しよう～」にあるように，みんなで創りあげた体育祭となりました。感動をありがとう！

入場行進　１年

２年

３年

開会式　校旗旗手

優勝旗・優勝カップ返還

選手宣誓

クラスアピール　１年

２年

３年

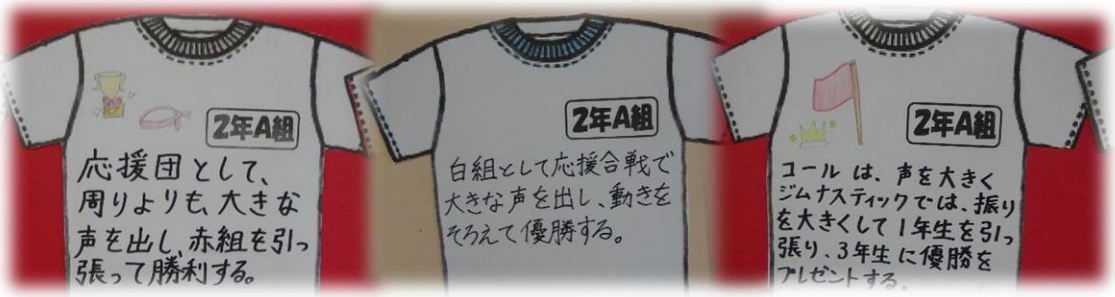
応援合戦：白組

「努力は裏切らない」「努力は報われる」とは限らないが・・・・・

「努力は裏切らない」「努力は報われる」とよく言われます。しかし，努力したけれど裏切られることもあれば，努力したけれど報われないことも現実にあります。今回の体育祭で紅組の人の中には，そのように思っている人もいることでしょう。大切なのは，裏切られた時，報われなかった時に，立ち上がること，這い上がることなのです。

こんな言葉を聞いたこともあります。「努力は報われるとはかぎらない。でも，努力しなければ成功はない。努力していない人に達成感はない。」

はじまり，終わり，また，はじまり　～大切なのは今からです～



○初めての体育祭で，緊張もあり，ワクワクもあり，いろんな気持ちがありました。両方負けて悔しい結果になりましたが，練習や本番を通して，仲間との絆を深めることができました。何よりも，はじめに比べたらみんなが成長できた体育祭だと思いました。

○一番心に残ったのは大ムカデです。練習では白組は１回も勝てなかったけど，練習を重ねて本番で勝てたことが嬉しかったです。ゴールしてから，紅組を皆で応援していたのも，すごく温かかったです。「最後まで諦めない」という目標が達成できて，よい体育祭になりました。

○今日は中学校最後の体育祭でした。結果的には，W優勝をとることができ，良かったです。絶対勝てると思っていた大ムカデは負けましたが，長縄で勝ったり，応援優勝もでき，本当に最高の体育祭でした！悔いのない体育祭ができ本当に幸せでした

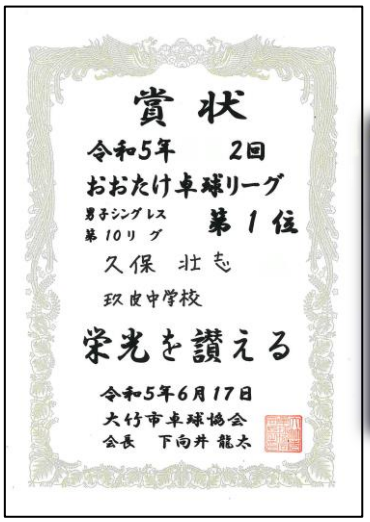
保護者・地域の皆様へ

４年ぶりに人数等を制限することなく保護者の方や地域の皆様をお招きすることができました。多くの方にご来校していただき，温かいご声援を送っていただいたことに感謝申し上げます。また，保護者の皆様には，突然のアナウンスにもかかわらず，テントの片付け等ご協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

お願い

玖波中学校だよりの中で，生徒・保護者の写真や名前を掲載させていただくことがあります。また，学校だよりは学校のＨＰ（ホームページ）にも掲載いたします。文中の写真や名前の掲載を望まれない方は，その旨，学校までお知らせください。

生徒の頑張り～おおたけ卓球リーグ　中体連春季大会野球の部　ヤングスポット～

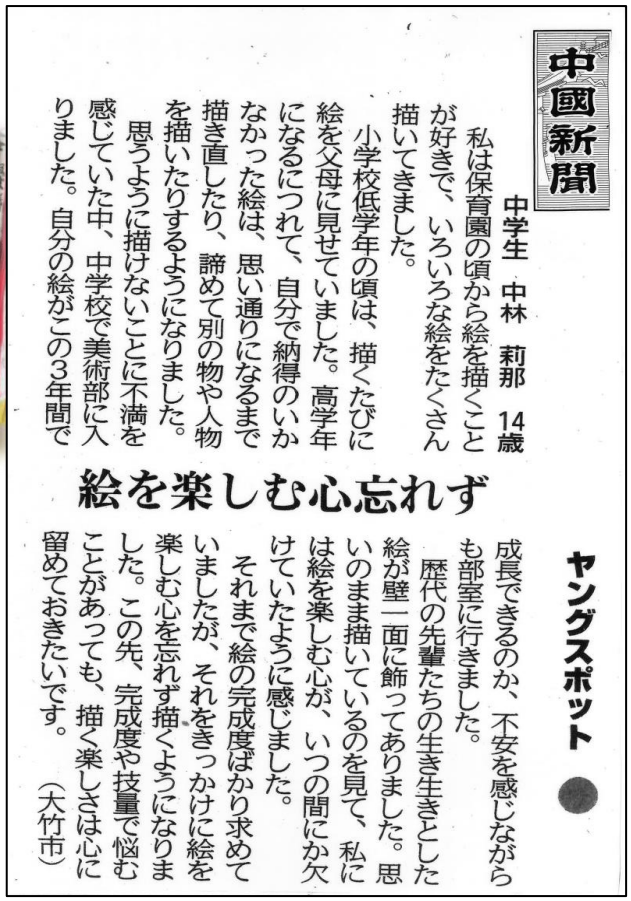


賞状

令和5年　2回
おおたけ卓球リーグ
男子シングレス　第10リーグ　第1位
久保　壮志
玖波中学校

栄光を讃える

令和5年6月17日
大竹市卓球協会
会長　下向井 龍太



中國新聞

ヤングスポット

絵を楽しむ心忘れず

中学生　中林　莉那　14歳

私は保育園の頃から絵を描くことが好きで、いろいろな絵をたくさん描いてきました。

小学校低学年の頃は、描くたびに絵を父母に見せていました。高学年になるにつれて、自分で納得のいかなかった絵は、思い通りになるまで描き直したり、諦めて別の物や人物を描いたりするようになりました。

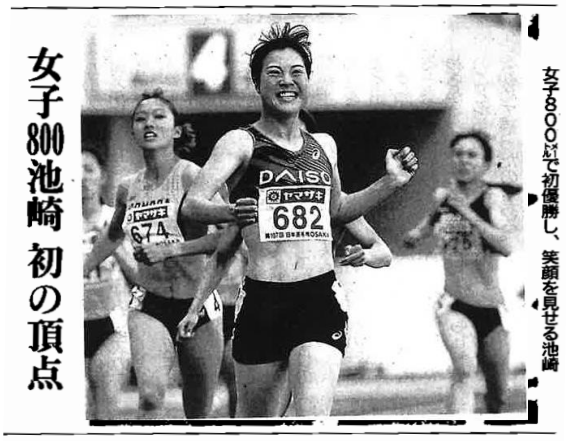
思うように描けないことに不満を感じていた中、中学校で美術部に入りました。自分の絵がこの3年間で成長できるのか、不安を感じながらも部室に行きました。

歴代の先輩たちの生き生きとした絵が壁一面に飾ってありました。思いのまま描いているのを見て、私には絵を楽しむ心が、いつの間にか欠けていたように感じました。

それまで絵の完成度ばかり求めていましたが、それをきっかけに絵を楽しむ心を忘れず描くようになりました。この先、完成度や技量で悩むことがあっても、描く楽しさは心に留めておきたいです。（大竹市）

卒業生の頑張り

池崎　愛里（平成 25 年度卒業）ダイソー　　日本陸上選手権大会　女子 800 メートル　優勝



女子 800 ㍍は池崎が残り，200 ㍍でピッチを上げ，初の頂点に立った。「ラスト勝負になったら，勝てない。思い切っていった」

４月からのレースのペースを意識し，最後の 30 秒を走り切る練習を重ねた。「スピードをキープできるようになった。練習通りに走れた。と胸を張った。

成果は記録にも表れた。広島・舟入高３年生時マークした自己ベストを１秒 77 更新。「２分３秒台が出るとは思っていなかった。日本記録（２分 0 秒 45）を軽々しく破ると言えるレベルではないが，出せるように頑張りたい」という意欲を新たにした。(中国新聞)

田丸　研（平成元年度卒業）宮島ボートレース企業団事業局「チームラボ学ぶ！未来の遊園地」プロデュース

7/22(土)～8/20(日)に，ボートレース宮島イベントホールで「チームラボ　学ぶ！未来の遊園地」が開催されます。7/22(土)の内覧会に玖波中学校生徒が招待を受けています。興味のある人は是非参加してみてください。その際には「内覧会招待券」が必要です。なお，7/23(日)からが一般参加が可能です。一般参加の詳細は QR コードで．